

【報道用資料】

2004年2月17日
コカ・コーラシステム

スマトラ島沖地震・津波被災地に3,280万円を寄付

日本のコカ・コーラシステムは昨年12月に発生したスマトラ島沖地震・津波災害に対する支援として、3,280万円を日本赤十字社を通じて被災地へ寄付いたしました。全国のシステム各社の社員からの募金に日本コカ・コーラ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：魚谷雅彦）と全国の14ボトラー社からの企業としての寄付を加えました。

ザ コカ・コーラ カンパニー（本社：アトランタ、会長兼CEO：ネビル・イズデル）からの約11億円の経済支援を始めとして、世界のコカ・コーラシステム各社が災害発生直後より様々な支援を行っていますが、日本からの寄付は今回が初めてです。

日本のコカ・コーラシステム各社は、1月中旬から2月初めにかけて全国550ヶ所の営業所をはじめとする、あらゆる事業所に勤務する従業員から寄付金を募った結果、1,280万円が寄せられました。この寄付金に日本コカ・コーラ株式会社が1,000万円、全国の14ボトラー社が1,000万円を企業の寄付として加え、合計3,280万円となりました。本日、コカ・コーラシステムを代表して日本コカ・コーラ株式会社代表取締役社長 魚谷雅彦とコカ・コーラボトラーズ協会会長 高梨圭二が、日本赤十字社を訪問し、寄付金を贈呈しました。

ザ コカ・コーラ カンパニーは災害発生直後から国際赤十字社、ユニセフ等国際援助機関を通じて約11億円の経済的支援を実施しました。それに加え、全世界のコカ・コーラシステムの社員による募金やボトラー社からの支援も合計約7.3億円にのぼり、今回被害に遭った地域で提供された、飲料水、食糧、毛布や医薬品等の物資は約2.5億円相当となります。インドで赤十字社を通じて、90万本の飲料水と従業員からの寄付金を、また、タイでは50万本の飲料水と2,000セットのサバイバルキットを被災地域に提供しました。

被災地域の一日も早い復興の一助となることを願っております。

【日本のコカ・コーラシステムについて】

日本のコカ・コーラシステムは、25 を超えるブランド、約 60 のフレーバー、200 以上のパッケージを日本全国の消費者に提供しています。世界で最も価値のあるブランド「コカ・コーラ」をはじめ、「ジョージア」コーヒー、ブレンド茶「爽健美茶」、スポーツドリンク「アクエリアス」、低果汁飲料「Qoo」などは、各飲料カテゴリーを代表するブランドとして広く消費者に親しまれています。日本のコカ・コーラシステムの詳細については、www.cocacola.co.jp をご覧ください。

<本件に関するお問合せ先>

日本コカ・コーラ株式会社 広報本部

TEL 03-5466-8120